

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

食の検定で JA職員 300人が団体受験

食の検定協会（東京都千代田区）の食農級3級、同2級試験が28日、全国約40会場であった。主婦やJA、農業・食品

関連企業の職員、学生ら約3400人が受験し、3級を団体受験したJA職員は約300人にとった。協会によるとJA職

員の団体受験が増えており、今回は昨年12月の前回試験より100人以上多く、過去最高となった。

食農級3級は食や農業の基本的な知識を問うもので、今回が5回目。同2級は内容が高度で3級合格者が受験でき、今回が2回目になる。今回の受験者は3級が約2400人、2級が約1000人。3級は職場などの単位で団体受験ができ、協会が設ける11力所の主会場ではなく、職場の会議室

や学校の教室などでも試験を受けられる。今回はJAや高校、農業関連企業など28団体、980人が団体受験した。協会によると、JA関

連では全農や茨城県、愛知県、奈良県、大分県などのJA・中央会職員らが団体受験した。個人で受験するJA職員も増えているという。